

(5) 事業評価シート

事業名	1 水源の森林づくり事業の推進																	
事業のねらい・目的	良質で安定的な水を確保するため、水源の森林エリア内で荒廃が進む私有林の適切な管理、整備を進め、水源かん養など森林の持つ公益的機能の高い「豊かで活力ある森林」を目指す。	事業対象地域	水源の森林エリア															
事業内容	水源分収林、水源協定林、買取り、協力協約、長期施業受委託、環境保全分収林の6つの手法により確保した森林の公的管理・支援を推進し、巨木林、複層林、混交林など豊かで活力ある森林づくりを進める。さらに、シカの採食による整備効果の低減に対処するため、シカ管理捕獲と連携した森林整備を実施する。																	
アウトプット ＜量的指標 による評価＞	【事業量】																	
		第1期(H19～23)		第2期(H24～28)														
	水源林確保	計画 6,215 ha	実績 6,284 ha	進捗率 101.1%	計画 5,540 ha	実績 5,378 ha	進捗率 97.1%											
	水源林整備	計画 9,592 ha	実績 10,325 ha	進捗率 107.6%	計画 11,067 ha	実績 11,528 ha	進捗率 104.2%											
		第3期(H29、30)		合計														
	水源林確保	計画 2,700 ha	実績 1,431 ha	進捗率 53.0%	計画 14,455 ha	実績 13,093 ha	進捗率 90.6%											
	水源林整備	計画 13,400 ha	実績 6,193 ha	進捗率 46.2%	計画 34,059 ha	実績 28,046 ha	進捗率 82.3%											
	【事業費】																	
		第1期(H19～23)		第2期(H24～28)														
	水源林確保	計画 839,300 万円	実績 819,980 万円	執行率 97.7%	計画 674,900 万円	実績 765,335 万円	執行率 113.4%											
	水源林整備 森林塾の実施																	
		第3期(H29、30)		合計														
	水源林確保	計画 624,400 万円	実績 283,631 万円	執行率 45.4%	計画 2,138,600 万円	実績 1,868,947 万円	執行率 87.4%											
	水源林整備 森林塾の実施																	
	【事業実施箇所図】																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>3期(19年度)の目標</th> <th>19～23年度実績</th> <th>第1期実績</th> <th>第2期実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>確保事業</td> <td>2,700ha</td> <td>5,421ha</td> <td>6,239ha</td> <td>6,278ha</td> </tr> <tr> <td>整備事業</td> <td>13,400ha</td> <td>8,193ha</td> <td>15,225ha</td> <td>11,828ha</td> </tr> </tbody> </table>				区分	3期(19年度)の目標	19～23年度実績	第1期実績	第2期実績	確保事業	2,700ha	5,421ha	6,239ha	6,278ha	整備事業	13,400ha	8,193ha	15,225ha	11,828ha
区分	3期(19年度)の目標	19～23年度実績	第1期実績	第2期実績														
確保事業	2,700ha	5,421ha	6,239ha	6,278ha														
整備事業	13,400ha	8,193ha	15,225ha	11,828ha														
【事業実施状況】 間伐等の森林整備直後の様子と5年後、下草等が回復した状況（相模原市緑区若柳地内）【H19～23】																		
【整備直後】		【整備5年後】																
<p>＜評価コメント＞</p> <p>水源の森林づくり事業の推進（水源林の確保・整備）では、第1期より私有林の確保ならびに整備に取り組んでおり、第3期2年目までの実施状況を確認する限り、事業量、事業費ともに順調に進捗しています。また、シカ対策と連携した森林整備を行うことで、下層植生が回復するなど、森林整備後のモニタリング調査においてもその効果が確認できています。</p> <p>平成28年度に実施した事業モニターでは、『良質な水を確保するために、水源環境保全税を導入し私有林を整備したことは評価できる。』『20年間整備してきた森林を返還された所有者が、水源かん養など公益的機能を持った森林であるという意識を持ち続けることが求められる。』などの意見が出ています。</p>																		

事業名	1 水源の森林づくり事業の推進（かながわ森林塾）																			
事業のねらい・目的	良質で安定的な水を確保するため、水源の森林エリア内で荒廃が進む私有林の適切な管理、整備を進め、水源かん養など森林の持つ公益的機能の高い「豊かで活力ある森林」を目指す。	事業対象地域	水源の森林エリア																	
事業内容	水源の森林づくり事業をはじめとした森林の保全・再生に係る特別対策事業の円滑な推進に必要な不可欠な人材の育成・確保を図るため「かながわ森林塾」を実施する。 森林整備業務従事希望者を対象として、基礎的技術の研修を実施し本格雇用へ誘導するとともに、既就業者を対象として効率的な木材搬出技術研修や森林の管理・経営を担える高度な知識・技術の研修を実施し、技術力の向上を図るなど、様々な技術レベルに応じた担い手育成を体系的に進める。																			
	【事業量】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>第1期(H19~23)</td> <td></td> <td>第2期(H24~28)</td> </tr> <tr> <td>森林塾の実施</td> <td>計画 ー 人 実績 33 人 進捗率 ー</td> <td>計画 75 人 実績 57 人 進捗率 76.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>第3期(H29、30)</td> <td></td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>森林塾の実施</td> <td>計画 50 人 実績 16 人 進捗率 32.0%</td> <td>計画 125 人 実績 73 人 進捗率 58.4%</td> <td></td> </tr> </table>				第1期(H19~23)		第2期(H24~28)	森林塾の実施	計画 ー 人 実績 33 人 進捗率 ー	計画 75 人 実績 57 人 進捗率 76.0%			第3期(H29、30)		合計	森林塾の実施	計画 50 人 実績 16 人 進捗率 32.0%	計画 125 人 実績 73 人 進捗率 58.4%		
	第1期(H19~23)		第2期(H24~28)																	
森林塾の実施	計画 ー 人 実績 33 人 進捗率 ー	計画 75 人 実績 57 人 進捗率 76.0%																		
	第3期(H29、30)		合計																	
森林塾の実施	計画 50 人 実績 16 人 進捗率 32.0%	計画 125 人 実績 73 人 進捗率 58.4%																		
	<input type="checkbox"/> 「かながわ森林塾」の研修概要（様々な技術レベルに応じた担い手育成研修を体系的に実施） <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修対象者</th> <th>研修コース名、定員・日数</th> <th>研修コースの内容・目的</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">就業希望者 (就業前)</td> <td>①森林体験コース 54歳以下、35人程度、10日間</td> <td>○森林・林業に関する体験実習、座学 ・就業意識の明確化、就業の見極め</td> </tr> <tr> <td>②演習林実習コース 体験コース修了者15人 実習70日間・集合研修10日間 (合計80日間・6か月)</td> <td>○演習林(水源林等)での現場実習、座学 ・基礎技術の習得・体力の向上</td> </tr> <tr> <td>中堅技術者 (既就業者3年目～)</td> <td>③素材生産技術コース 10人 19日間</td> <td>○間伐材の伐木、造材、搬出技術の現場実習、座学 ・路網整備と機械集材の技術向上</td> </tr> <tr> <td>上級技術者 (既就業者5年目～)</td> <td>④流域森林管理士コース 15人 1～4か月 74日間</td> <td>○森林・林業に関する研修、技能講習 ・森林を総合的にマネジメントできる幅広い知識や高度な技術を身につけた技術者の養成</td> </tr> <tr> <td>造園・土木会社 (新規参入)</td> <td>⑤森林整備基本研修 (森林体験コースに併設) 50人 5日間(+特別3日間)</td> <td>○森林・林業に関する体験実習、座学 ・他業種からの新規参入の促進、森林整備業務の技術水準の確保</td> </tr> </tbody> </table>			研修対象者	研修コース名、定員・日数	研修コースの内容・目的	就業希望者 (就業前)	①森林体験コース 54歳以下、35人程度、10日間	○森林・林業に関する体験実習、座学 ・就業意識の明確化、就業の見極め	②演習林実習コース 体験コース修了者15人 実習70日間・集合研修10日間 (合計80日間・6か月)	○演習林(水源林等)での現場実習、座学 ・基礎技術の習得・体力の向上	中堅技術者 (既就業者3年目～)	③素材生産技術コース 10人 19日間	○間伐材の伐木、造材、搬出技術の現場実習、座学 ・路網整備と機械集材の技術向上	上級技術者 (既就業者5年目～)	④流域森林管理士コース 15人 1～4か月 74日間	○森林・林業に関する研修、技能講習 ・森林を総合的にマネジメントできる幅広い知識や高度な技術を身につけた技術者の養成	造園・土木会社 (新規参入)	⑤森林整備基本研修 (森林体験コースに併設) 50人 5日間(+特別3日間)	○森林・林業に関する体験実習、座学 ・他業種からの新規参入の促進、森林整備業務の技術水準の確保
研修対象者	研修コース名、定員・日数	研修コースの内容・目的																		
就業希望者 (就業前)	①森林体験コース 54歳以下、35人程度、10日間	○森林・林業に関する体験実習、座学 ・就業意識の明確化、就業の見極め																		
	②演習林実習コース 体験コース修了者15人 実習70日間・集合研修10日間 (合計80日間・6か月)	○演習林(水源林等)での現場実習、座学 ・基礎技術の習得・体力の向上																		
中堅技術者 (既就業者3年目～)	③素材生産技術コース 10人 19日間	○間伐材の伐木、造材、搬出技術の現場実習、座学 ・路網整備と機械集材の技術向上																		
上級技術者 (既就業者5年目～)	④流域森林管理士コース 15人 1～4か月 74日間	○森林・林業に関する研修、技能講習 ・森林を総合的にマネジメントできる幅広い知識や高度な技術を身につけた技術者の養成																		
造園・土木会社 (新規参入)	⑤森林整備基本研修 (森林体験コースに併設) 50人 5日間(+特別3日間)	○森林・林業に関する体験実習、座学 ・他業種からの新規参入の促進、森林整備業務の技術水準の確保																		
アウトプット <量的指標 による評価>	演習林実習コース実施状況（新規就業に必要な様々な技術を実習を通じて習得する。） <table border="1"> <tr> <td> 【下刈り実習】  【下刈り】 苗木の周囲を刈り払うため刈払機を扱う技術を習得する </td> <td> 【間伐実習】  【間伐】 立ち木をチェーンソーで安全に伐採するための技術を習得する </td> </tr> <tr> <td> 【測量実習】  【測量】 森林の状態を適切に把握するため面積を測量する技術を習得する </td> <td> 【丸太柵工実習】  【丸太柵工】 森林内の土壌保全のため丸太による柵工の設置技術を習得する </td> </tr> </table>			【下刈り実習】  【下刈り】 苗木の周囲を刈り払うため刈払機を扱う技術を習得する	【間伐実習】  【間伐】 立ち木をチェーンソーで安全に伐採するための技術を習得する	【測量実習】  【測量】 森林の状態を適切に把握するため面積を測量する技術を習得する	【丸太柵工実習】  【丸太柵工】 森林内の土壌保全のため丸太による柵工の設置技術を習得する													
【下刈り実習】  【下刈り】 苗木の周囲を刈り払うため刈払機を扱う技術を習得する	【間伐実習】  【間伐】 立ち木をチェーンソーで安全に伐採するための技術を習得する																			
【測量実習】  【測量】 森林の状態を適切に把握するため面積を測量する技術を習得する	【丸太柵工実習】  【丸太柵工】 森林内の土壌保全のため丸太による柵工の設置技術を習得する																			
	≪評価コメント≫ 水源の森林づくり事業の推進（かながわ森林塾の実施）では、第2期より「新規就労者の育成人数」を計画の目標数量に設定しており、概ね順調に事業が実施されていると評価します。また、森林塾事業の実施により新規就労が進むことで、林業従事者が若返りの傾向にあります。加えて、既就業者を対象とした研修の実施により、幅広い知識と高度な資格を取得した中堅、上級技術者も増加することで、今後の森林の保全・再生に係る事業の円滑な推進に期待したい。 平成30年度に実施した事業モニターでは、『森林塾はほぼねらいどおり、林業労働力の育成確保に効果を上げている。』『森林塾の対象年齢をもう少し高くしてはどうか。』などの意見が出ています。																			

事業名	2 丹沢大山の保全・再生対策		
事業のねらい・目的	丹沢大山を中心に、シカ管理による林床植生の衰退防止や衰退しつつあるブナ林等の再生に取り組むことで、森林土壌の保全や生物多様性の保全などの公益的機能の高い森林づくりを目指す。	事業対象地域	県内水源保全地域

事業内容 中高標高域の林床植生の回復と衰退防止を図るため、水源の森林づくり事業等による森林整備とシカ管理を連携して実施するとともに、これまでの調査研究や技術開発の成果を踏まえ、ブナ林等の再生の取組を実施する。また、登山道の維持補修や山中に埋設しているゴミの収集・撤去、環境配慮型トイレへの転換の支援など県民連携・協働事業を促進する。

【事業量】

	第1期(H19~23)			第2期(H24~28)		
管理捕獲実施箇所数	計画 1箇所	実績 1箇所	進捗率 100%	計画 159箇所	実績 159箇所	進捗率 100%
土壤保全対策	計画 58.5 ha	実績 79.4 ha	進捗率 135.7%	計画 50.0 ha	実績 70.8 ha	進捗率 141.6%
管理捕獲実施箇所数	計画 150箇所	実績 74箇所	進捗率 49.3%	計画 150箇所	実績 74箇所	進捗率 49.3%
土壤保全対策	計画 108.5 ha	実績 150.2 ha	進捗率 138.4%	計画 108.5 ha	実績 150.2 ha	進捗率 138.4%

【事業費】

	第1期(H19~23)			第2期(H24~28)		
丹沢大山の保全・再生対策	計画 79,600万円	実績 82,366万円	執行率 103.5%	計画 128,400万円	実績 177,842万円	執行率 138.5%
第3期(H29、30)	計画 125,200万円	実績 47,570万円	進捗率 38.0%	計画 333,200万円	実績 307,778万円	進捗率 92.4%

※第3期より、土壤保全対策は、土壤保全対策の推進(3番事業)へ移行

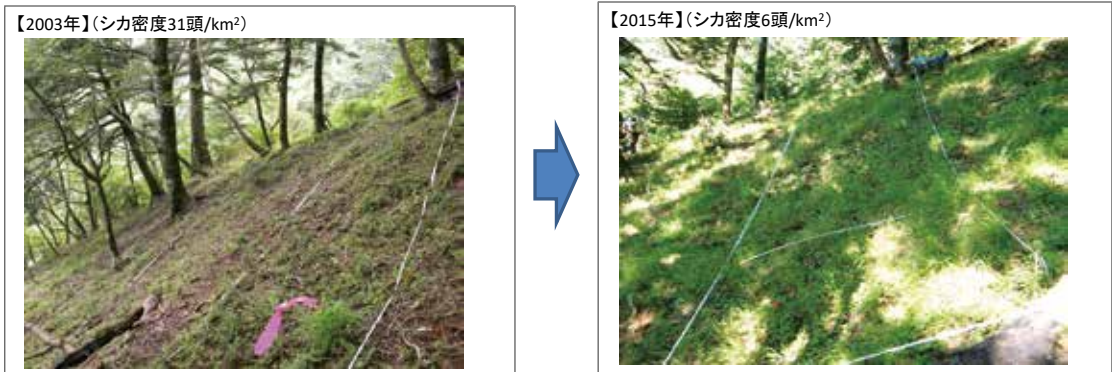
【事業実施箇所図】



アウトプット
<量的指標
による評価>

【事業実施状況】

シカ管理捕獲等による、下草等が回復した状況(清川村宮ヶ瀬地内(堂平))



【評価コメント】

第1期及び第2期計画では「土壌流出防止対策」を、第3期計画では「シカ管理捕獲実施箇所」を目標数量に設定しており、実施状況を確認したところ、計画数量以上の成果を上げていると評価します。なお、丹沢大山の中高標高域でシカの管理捕獲を継続して行ったことで、丹沢山地におけるシカの生息数は減少傾向にあり、シカの生息密度が減少した森林においては、林床植生の増加も確認されるなどの成果も出ています。

また、鳥獣法に基づき公益的機関では全国初の「鳥獣捕獲等認定事業者」として6名のワイルドライフレンジャーを位置づけ捕獲を実施していますが、このような全国に先駆けて山岳域での捕獲を実施している点も大いに評価できます。

平成29年度に実施した事業モニターでは、『ブナ林の再生は、まだ前途遙かという段階であり長い目で見なければならぬ。』『長期にわたり収集した調査データを公開するなどし、全国的にも先進的な取組を進めていることを、もっと県民に広報すべきである。』などの意見が出ています。

事業名	3 溪畔林整備事業		
事業のねらい・目的	水源上流の溪流沿いにおいて、土砂流出防止や水質浄化、生物多様性の保全など森林の有する公益的機能が高度に発揮される良好な溪畔林の形成を目指すとともに事業効果の検証と整備技術の確立を図る。	事業対象地域	県内水源保全地域

事業内容 本数調整伐等の森林整備、植生保護柵の設置による植生の回復、丸太柵等の設置による土砂流出防止の対策を講じるとともに、整備した森林等についてモニタリング調査を実施する。

【事業量】

	第1期(H19~23)			第2期(H24~28)		
森林整備	計画 20.0 ha	実績 22.4 ha	進捗率 112.0%	計画 15.0 ha	実績 17.8 ha	進捗率 118.7%
植生保護柵設置	計画 4,000.0 m	実績 8,620.0 m	進捗率 215.5%	計画 2,500.0 m	実績 2,473.0 m	進捗率 98.9%
丸太柵等の設置	計画 5,000.0 m	実績 2,626.0 m	進捗率 52.5%	計画 1,600.0 m	実績 1,847.0 m	進捗率 115.4%
合計	計画 35.0 ha	実績 40.2 ha	進捗率 114.9%	計画 6,500 m	実績 11,093.0 m	進捗率 170.7%
	計画 6,600 m	実績 4,473.0 m	進捗率 67.8%			

【事業費】

	第1期(H19~23)			第2期(H24~28)		
溪畔林整備	計画 20,000 万円	実績 17,289 万円	執行率 86.4%	計画 8,000 万円	実績 16,190 万円	執行率 202.4%
合計	計画 28,000 万円	実績 33,479 万円	進捗率 119.6%			

【事業実施箇所図】



アウトプット
＜量的指標
による評価＞

【事業実施状況】

森林整備と植生保護柵の設置による、植生が回復した状況（境沢：清川村煤ヶ谷地内）

【2013】(整備後5年)



【2018年】(整備後10年)



＜評価コメント＞

第1期計画及び第2期計画の目標数量に対し、本数調整伐等の森林整備においては114.9%、シカの採食を防ぐ植生保護柵の設置においては170.7%と目標を上回る実績になっています。一方、丸太柵等の設置については、67.8%に止まっていますが、これは第1期に実施したモニタリング調査の結果から現地におけるシカの影響が予想以上に高いことが分かったため、工種を丸太柵等から植生保護柵へ変更したことが実績が低い要因となっています。

なお、全国的に未確立な溪畔林整備技術について、試行的な事業実施及びモニタリングを重ねたことで、初期段階の整備技術を概ね確立し、「溪畔林整備の手引き」を作成したことは大いに評価します。今後は、この手引きを参考に水源の森林づくり事業をはじめとする森林整備に活用していただきたい。

平成28年度に実施した事業モニターでは、『今後多様な生物が息息可能な溪畔林整備を望むとともに、「溪畔林整備事業」で機能や特性、科学的根拠が解明され価値を持った「溪畔林」になるよう期待する。』などの意見が出ています。

事業名	3 土壌保全対策の推進		
事業のねらい・目的	台風被害等により発生した森林の崩壊地等において、新たに土木的工法も導入し、水源かん養機能の発揮に重要な役割を果たす森林の土壌保全対策の強化を図る。	事業対象地域	県内水源保全地域

事業内容 県内水源保全地域内の崩壊地において、崩壊の拡大や森林土壌の流出を防止するため、土木的工法も取り入れた土壌保全対策を推進する。
また、水源の森林エリア内のシカの採食等による林床植生の衰退に伴い、土壌流出が懸念される森林において、筋工や植生保護柵等を組み合わせた土壌保全対策を推進する。

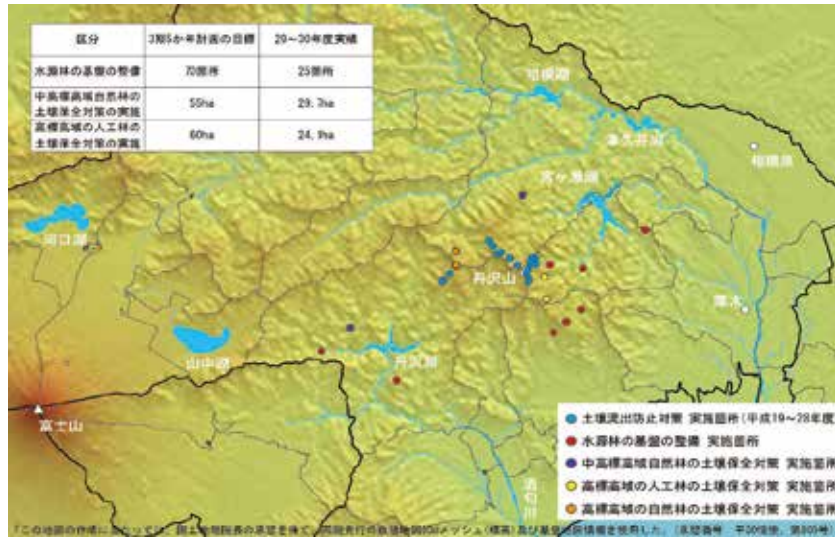
【事業量】

		第3期(H29、30)			合計		
水源林基盤整備	計画 70箇所	実績 25箇所	進捗率 35.7%	計画 70箇所	実績 25箇所	進捗率 35.7%	
中高標高自然林	計画 55ha	実績 29.7ha	進捗率 54.0%	計画 55ha	実績 29.7ha	進捗率 54.0%	
高標高域人工林	計画 60ha	実績 24.1ha	進捗率 40.2%	計画 60ha	実績 24.1ha	進捗率 40.2%	

【事業費】

		第3期(H29、30)			合計		
水源林基盤整備	計画	実績 13,308万円	進捗率	計画	実績 13,308万円	進捗率	
中高標高自然林	計画 131,000万円	実績 24,106万円	進捗率 35.9%	計画 131,000万円	実績 24,106万円	進捗率 35.9%	
高標高域人工林	計画	実績 9,661万円	進捗率	計画	実績 9,661万円	進捗率	

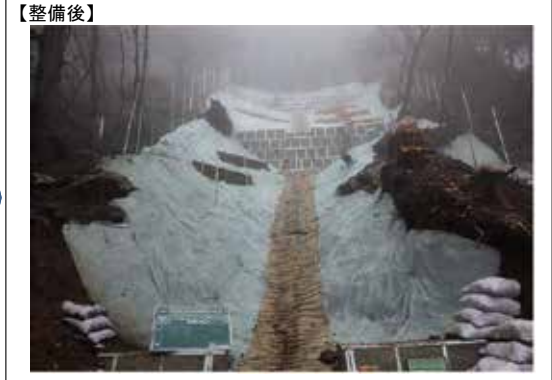
【事業実施箇所図】



アウトプット
＜量的指標
による評価＞

【事業実施状況】

土壌が流出し荒廃した森林において、土留工や植生保護柵を組み合わせて土壌保全を図った状況（秦野市寺山地内）【H29】



《評価コメント》

土壌保全対策の推進は第3期計画より位置付けられた事業であり、水源林の基盤整備では、スコリア土壌の流出の著しい水源地域の森林において、土木的工法を用いて土壌保全に取り組んでいます。

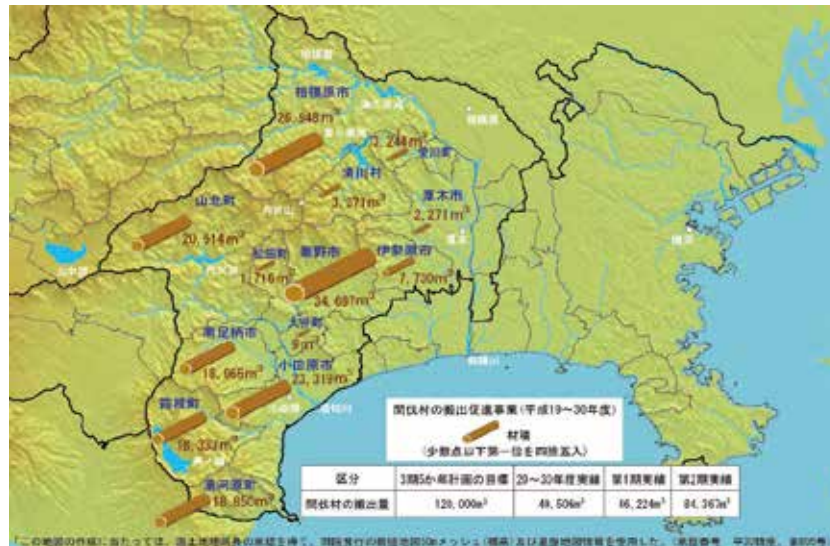
第3期2年目までの実施状況を確認する限り、事業量、事業費ともに概ね順調に進捗しているものと評価します。高標高自然林では植生保護柵や筋工などの土壌保全対策が、高標高人工林ではそれらの工法に加えて間伐などの森林整備が行われて、事業量は目標を上回る実績で推移し順調に進捗しています。

事業名	4 間伐材の搬出促進		
事業のねらい・目的	民間の力を活用して水源かん養など公益的機能の高い良好な森林づくりを進めるため、間伐材の搬出を促進し、有効活用を図ることにより、森林所有者自らが行う森林整備を促進するとともに、森林循環による持続的・自立的な森林管理の確立を目指す。	事業対象地域	県内水源保全地域

事業内容 森林整備により伐採された間伐材の集材、搬出に要する経費に対し、補助する。
また、森林組合連合会が行う間伐材の仕分けや造材に関する生産指導や生産効率の高い搬出方法の普及定着を図るための生産効率調査・検証、搬出業者と製材工場等の需給調整の経費に対し支援を行う。

【事業量】			
	第1期(H19~23)		第2期(H24~28)
搬出量	計画 50,000 m ³	実績 46,224 m ³	進捗率 92.4%
	計画 107,500 m ³	実績 84,366 m ³	進捗率 78.5%
	第3期(H29、30)		合計
搬出量	計画 120,000 m ³	実績 49,506 m ³	進捗率 41.3%
生産指導	計画 50 箇所	実績 21 箇所	進捗率 42.0%
	計画 277,500 ha	実績 180,096 ha	進捗率 64.9%
【事業費】			
	第1期(H19~23)		第2期(H24~28)
補助額	計画 40,900 万円	実績 50,079 万円	執行率 122.4%
	計画 128,500 万円	実績 114,588 万円	執行率 89.2%
	第3期(H29、30)		合計
補助額	計画 155,000 万円	実績 60,362 万円	執行率 38.9%
	計画 324,400 万円	実績 225,029 万円	執行率 69.4%

【事業実施箇所図】



アウトプット
量的指標
による評価

【事業実施状況】

高性能林業機械の導入等により、間伐材の搬出は安全かつ効率的になってきた。

【ハーベスタによる伐倒・枝払い・玉切り】



【フォワーダによる運材・はい積】



《評価コメント》

本事業は、間伐材の搬出量及び生産指導活動の箇所数を計画目標に設定しており、第3期2年目までの実績は事業量、事業費ともに順調に進捗しています。第2期以降は、安全で効率的な集材等が可能な高性能林業機械を導入する事業体も増えているとことで、木材生産量は事業開始当初と比べ大幅に増加しています。第2期5年目の平成28年度には、木材生産量が32,239m³まで達しており、このうち約8割が本事業を活用して生産されています。

平成30年度に実施した事業モニターでは、『間伐材の搬出促進については、大型機械の導入などにより水源環境保全税が適切かつ効果的に使われていると判断できる。』『県は、水源環境保全税終了後を見据えた事業展開を今後検討していくことが必要と感じる。』などの意見が出ています。

事業名	5 地域水源林整備の支援																						
事業のねらい・目的	地域における水源保全を図るため、市町村や森林所有者が行う間伐などの森林整備に対して県が支援し、水源かん養など公益的機能の高い森林づくりを目指す。	事業対象地域	県内水源保全地域 (地域水源林エリア)																				
事業内容	地域特性を踏まえた市町村の全体整備構想に基づいた地域水源林の整備や森林所有者が自ら実施する間伐などの森林整備の取組に対して支援する。																						
アウトプット <量的指標 による評価>	【事業量】																						
	第1期(H19~23)		第2期(H24~28)																				
	私有林確保	計画 1,263 ha 実績 1,235 ha 進捗率 97.8%	計画 1,014 ha 実績 1,169 ha 進捗率 115.3%																				
	私有林整備	計画 1,263 ha 実績 1,262 ha 進捗率 99.9%	計画 1,376 ha 実績 1,408 ha 進捗率 102.3%																				
	市町村有林整備	計画 942 ha 実績 631 ha 進捗率 67.0%	計画 584 ha 実績 565 ha 進捗率 96.7%																				
	高齢級間伐	計画 1,080 ha 実績 408 ha 進捗率 37.8%	計画 500 ha 実績 155 ha 進捗率 31.0%																				
	第3期(H29、30)		合計																				
	私有林確保	計画 840 ha 実績 339 ha 進捗率 40.4%	計画 3,117 ha 実績 2,743 ha 進捗率 88.0%																				
	私有林整備	計画 1,360 ha 実績 453 ha 進捗率 33.3%	計画 3,999 ha 実績 3,123 ha 進捗率 78.1%																				
	市町村有林整備	計画 435 ha 実績 213 ha 進捗率 48.9%	計画 1,961 ha 実績 1,408 ha 進捗率 71.8%																				
	高齢級間伐	計画 100 ha 実績 33 ha 進捗率 33.0%	計画 1,680 ha 実績 596 ha 進捗率 35.5%																				
	【事業費】																						
	第1期(H19~23)		第2期(H24~28)																				
	地域水源林整備	計画 万円 実績 330,200 万円	計画 万円 実績 346,670 万円																				
	高齢級間伐	計画 94,900 万円 実績 9,959 万円	計画 314,000 万円 実績 4,928 万円	進捗率 358.4%	進捗率 112.0%																		
計	計画 万円 実績 340,159 万円	計画 万円 実績 351,598 万円																					
第3期(H29、30)		合計																					
地域水源林整備	計画 万円 実績 116,650 万円	計画 万円 実績 793,520 万円																					
高齢級間伐	計画 286,500 万円 実績 1,000 万円	計画 695,400 万円 実績 15,887 万円	進捗率 41.1%	進捗率 116.4%																			
計	計画 万円 実績 117,650 万円	計画 万円 実績 809,407 万円																					
【事業実施箇所図】																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>2019年度計画の目標</th> <th>20~23年度実績</th> <th>第1期実績</th> <th>第2期実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>私有林確保</td> <td>843ha</td> <td>339ha</td> <td>1,235ha</td> <td>1,169ha</td> </tr> <tr> <td>私有林整備</td> <td>1,263ha</td> <td>453ha</td> <td>1,262ha</td> <td>1,408ha</td> </tr> <tr> <td>市町村有林整備</td> <td>435ha</td> <td>213ha</td> <td>631ha</td> <td>565ha</td> </tr> </tbody> </table>				区分	2019年度計画の目標	20~23年度実績	第1期実績	第2期実績	私有林確保	843ha	339ha	1,235ha	1,169ha	私有林整備	1,263ha	453ha	1,262ha	1,408ha	市町村有林整備	435ha	213ha	631ha	565ha
区分	2019年度計画の目標	20~23年度実績	第1期実績	第2期実績																			
私有林確保	843ha	339ha	1,235ha	1,169ha																			
私有林整備	1,263ha	453ha	1,262ha	1,408ha																			
市町村有林整備	435ha	213ha	631ha	565ha																			
【事業実施状況】																							
間伐等の森林整備前後の様子、下草等が回復した状況（松田町松田庶子地内）【H24~28】																							
【整備前】		【整備後】																					
【評価コメント】																							
<p>第3期2年目までの計画目標数量に対し、市町村が実施する私有林の確保・整備及び市町村有林の整備に関しては概ね順調な実績といえます。一方、高齢級間伐の促進については、35.5%と低調な実績に止まっています。これについては、県が第2期に状況分析を行っており、その結果、所有者の希望により長期施業受委託への移行がみられたことが原因であることが分かりました。その後は、長期施業受委託への移行予定箇所を早めに把握するとともに、高齢級間伐が実施可能な箇所については関係者との調整を密に図って事業に取り組んでいただいています。</p> <p>平成29年度に実施した事業モニターでは、『地域水源林の整備にあたって、各自治体が使いやすい支援をするべきと思うが、事業目的が住民のための水源かん養に利しているのかをしっかりと検討することが基本である。』などの意見が出ています。</p>																							

事業名	6 河川・水路における自然浄化対策の推進		
事業のねらい・目的	水源として利用している河川において、自然浄化や水循環の機能等を高め、水源河川としてふさわしい水源水質の維持・向上を目指す。	事業対象地域	相模川水系及び酒匂川水系取水堰の県内集水域

事業内容 市町村管理の河川・水路における生態系の保全を推進し、良好な水源環境を形成するため、市町村が実施する生態系に配慮した河川・水路の整備を支援する。

【事業量】 ※第2期までは直接浄化対策を実施していたが、第3期から廃止している。

第1期(H19~23)				第2期(H24~28)			
河川・水路整備	計画 7箇所	実績 16箇所	進捗率 228.6%	計画 7箇所	実績 13箇所	進捗率 185.7%	
直接浄化対策	計画 30箇所	実績 9箇所	進捗率 30.0%	計画 7箇所	実績 13箇所	進捗率 185.7%	
第3期(H29、30)				合計			
河川・水路整備	計画 10箇所	実績 6箇所	進捗率 60.0%	計画 24箇所	実績 35箇所	進捗率 145.8%	
直接浄化対策	計画 1箇所	実績 1箇所	進捗率 100%	計画 37箇所	実績 22箇所	進捗率 59.5%	

【事業費】 ※計画額は6番事業全体額を計算しているため、第1期・第2期含めて全体額のみ表記とした。

第1期(H19~23)				第2期(H24~28)			
河川・水路整備	計画 112,200万円	実績 133,610万円	執行率 119.1%	計画 177,100万円	実績 117,535万円	執行率 66.4%	
第3期(H29、30)				合計			
河川・水路整備	計画 149,000万円	実績 40,930万円	執行率 27.5%	計画 438,300万円	実績 292,075万円	執行率 66.6%	

【事業実施箇所図】



アウトプット
<量的指標
による評価>

【事業実施状況】

善明川整備前・整備後の状況（厚木市）

【整備前】



【整備後】



《評価コメント》

本事業は、市町村が実施する河川や水路の整備等へ県が補助する事業となりますが、第1期計画では、河川・水路の整備に関して県が想定した計画量より市町村からの申請が多く、一方、直接浄化対策については県が想定した計画量より市町村の申請が少なかったことから、現在の実績（進捗率）となっています。

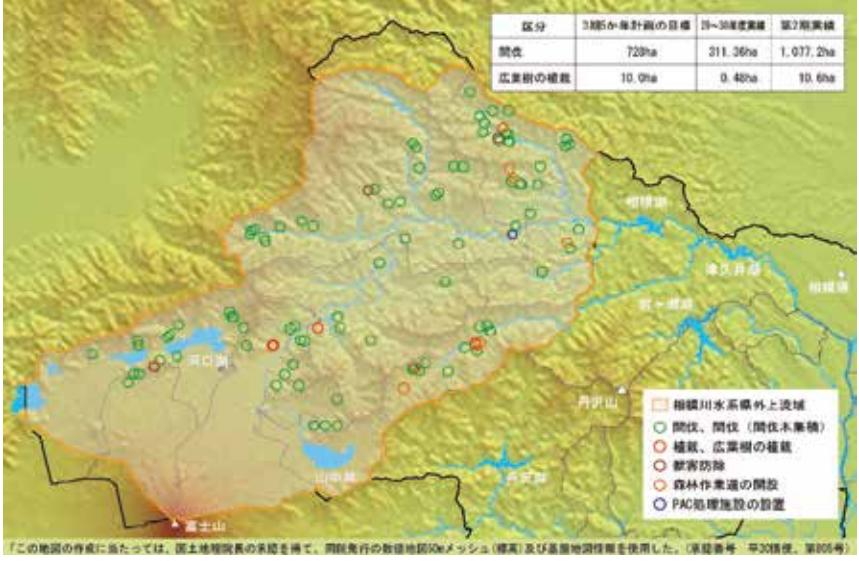


整備を実施した箇所では、底生生物の増加が確認された場所もあるなど一定の成果が出てきていると評価します。また、地元の方々の市民活動によりその後の豊かな自然環境が維持されている箇所も出てきていることから、今後も良好な環境を維持していく活動が継続されることが望まれます。

平成27年度に実施した事業モニターでは、『水路は居住地域を流れることから地域住民の意見を反映させることが整備計画では大事であり、それを踏まえて本当に必要な整備なのかを見極めていただきたい。』などの意見が出ています。

事業名	7 地下水保全対策の推進																																																																																																																																																					
事業のねらい・目的	地下水（伏流水、湧水を含む）を主要な水道水源として利用している地域において、それぞれの地域特性に応じて市町村が主体的に行う地下水かん養や水質保全等の取組を促進し、良質で安定的な地域水源の確保を図る。	事業対象地域	地下水を主要な水道水源としている地域																																																																																																																																																			
事業内容	地下水を主要な水道水源としている地域内の市町村が計画的に実施する地下水のかん養対策や汚染対策への支援を行う。																																																																																																																																																					
	<p>【事業量】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">第1期(H19~23)</th> <th colspan="3">第2期(H24~28)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保全計画策定</td> <td>計画</td> <td>— 市町</td> <td>実績</td> <td>9 市町</td> <td>計画</td> <td>— 市町</td> <td>実績</td> <td>— 市町</td> </tr> <tr> <td>かん養対策</td> <td>計画</td> <td>— 市町</td> <td>実績</td> <td>6 市町</td> <td>計画</td> <td>— 市町</td> <td>実績</td> <td>4 市町</td> </tr> <tr> <td>汚染対策</td> <td>計画</td> <td>— 市町</td> <td>実績</td> <td>2 市町</td> <td>計画</td> <td>— 市町</td> <td>実績</td> <td>2 市町</td> </tr> <tr> <td>モニタリング</td> <td>計画</td> <td>— 市町</td> <td>実績</td> <td>10 市町</td> <td>計画</td> <td>— 市町</td> <td>実績</td> <td>10 市町</td> </tr> <tr> <td colspan="3">第3期(H29、30)</td> <td colspan="3">合計</td> </tr> <tr> <td>保全計画策定</td> <td>計画</td> <td>— 市町</td> <td>実績</td> <td>— 市町</td> <td>計画</td> <td>— 市町</td> <td>実績</td> <td>9 市町</td> </tr> <tr> <td>かん養対策</td> <td>計画</td> <td>— 市町</td> <td>実績</td> <td>2 市町</td> <td>計画</td> <td>— 市町</td> <td>実績</td> <td>6 市町</td> </tr> <tr> <td>汚染対策</td> <td>計画</td> <td>— 市町</td> <td>実績</td> <td>1 市町</td> <td>計画</td> <td>— 市町</td> <td>実績</td> <td>2 市町</td> </tr> <tr> <td>モニタリング</td> <td>計画</td> <td>— 市町</td> <td>実績</td> <td>10 市町</td> <td>計画</td> <td>— 市町</td> <td>実績</td> <td>10 市町</td> </tr> </tbody> </table> <p>【事業費】 ※計画額は7番事業全体額を計算しているため、全体額のみ表記とした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">第1期(H19~23)</th> <th colspan="3">第2期(H24~28)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地下水保全対策</td> <td>計画</td> <td>116,500 万円</td> <td>実績</td> <td>50,540 万円</td> <td>執行率</td> <td>43.4%</td> <td>計画</td> <td>32,200 万円</td> <td>実績</td> <td>33,120 万円</td> <td>執行率</td> <td>102.9%</td> </tr> <tr> <td colspan="3">第3期(H29、30)</td> <td colspan="3">合計</td> </tr> <tr> <td>地下水保全対策</td> <td>計画</td> <td>39,600 万円</td> <td>実績</td> <td>22,400 万円</td> <td>執行率</td> <td>56.6%</td> <td>計画</td> <td>188,300 万円</td> <td>実績</td> <td>106,060 万円</td> <td>執行率</td> <td>56.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【事業実施箇所図】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> <th>29~30年度実績</th> <th>第1期実績</th> <th>第2期実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地下水保全計画の策定</td> <td>地下水かん養や水質保全のための計画策定</td> <td>9市町</td> <td>9市町</td> <td>9市町</td> </tr> <tr> <td>地下水かん養対策</td> <td>休耕田を利用した地下水かん養、雨水浸透施設等</td> <td>2市町</td> <td>6市町</td> <td>4市町</td> </tr> <tr> <td>地下水汚染対策</td> <td>地下水の浄化設備等の設置、維持管理等</td> <td>1市町</td> <td>2市町</td> <td>2市町</td> </tr> <tr> <td>地下水モニタリング</td> <td>地下水の水位や水質のモニタリング</td> <td>10市町</td> <td>10市町</td> <td>10市町</td> </tr> </tbody> </table> <p>アウトプット ＜量的指標による評価＞</p> <p>【事業実施状況】</p> <p>○かん養対策：休耕田等に水を張り地下水のかん養を図る。 ○モニタリング：各市町で水位・水質モニタリングを実施。</p> <p>○汚染対策：有機塩素系化学物質に汚染された地下水を浄化装置に通し、浄化を図る。</p> <p>《評価コメント》 本事業については、目標数量等の設定はありませんが、事業費については、第2期以降、概ね計画通り執行されていると評価します。また、地下水を主要な水道水源としている地域では、第1期に地下水保全計画を作成後、地下水保全対策を実施しており、現在汚染対策を実施しているのは1市のみとなっていることから取組の成果がでているものと評価します。 平成30年度に実施した事業モニターでは、『秦野市は過去に地下水汚染の経過があるが、現在は地下水汚染浄化事業の効果がみられており、水源環境保全税が適切に使われていると判断できる。』『地下水を利用していることの利点と維持の必要性を地域住民に理解していただくための広報・普及啓発が必要である。』などの意見が出ています。</p>			第1期(H19~23)			第2期(H24~28)			保全計画策定	計画	— 市町	実績	9 市町	計画	— 市町	実績	— 市町	かん養対策	計画	— 市町	実績	6 市町	計画	— 市町	実績	4 市町	汚染対策	計画	— 市町	実績	2 市町	計画	— 市町	実績	2 市町	モニタリング	計画	— 市町	実績	10 市町	計画	— 市町	実績	10 市町	第3期(H29、30)			合計			保全計画策定	計画	— 市町	実績	— 市町	計画	— 市町	実績	9 市町	かん養対策	計画	— 市町	実績	2 市町	計画	— 市町	実績	6 市町	汚染対策	計画	— 市町	実績	1 市町	計画	— 市町	実績	2 市町	モニタリング	計画	— 市町	実績	10 市町	計画	— 市町	実績	10 市町	第1期(H19~23)			第2期(H24~28)			地下水保全対策	計画	116,500 万円	実績	50,540 万円	執行率	43.4%	計画	32,200 万円	実績	33,120 万円	執行率	102.9%	第3期(H29、30)			合計			地下水保全対策	計画	39,600 万円	実績	22,400 万円	執行率	56.6%	計画	188,300 万円	実績	106,060 万円	執行率	56.3%	区分	内容	29~30年度実績	第1期実績	第2期実績	地下水保全計画の策定	地下水かん養や水質保全のための計画策定	9市町	9市町	9市町	地下水かん養対策	休耕田を利用した地下水かん養、雨水浸透施設等	2市町	6市町	4市町	地下水汚染対策	地下水の浄化設備等の設置、維持管理等	1市町	2市町	2市町	地下水モニタリング	地下水の水位や水質のモニタリング	10市町	10市町	10市町
第1期(H19~23)			第2期(H24~28)																																																																																																																																																			
保全計画策定	計画	— 市町	実績	9 市町	計画	— 市町	実績	— 市町																																																																																																																																														
かん養対策	計画	— 市町	実績	6 市町	計画	— 市町	実績	4 市町																																																																																																																																														
汚染対策	計画	— 市町	実績	2 市町	計画	— 市町	実績	2 市町																																																																																																																																														
モニタリング	計画	— 市町	実績	10 市町	計画	— 市町	実績	10 市町																																																																																																																																														
第3期(H29、30)			合計																																																																																																																																																			
保全計画策定	計画	— 市町	実績	— 市町	計画	— 市町	実績	9 市町																																																																																																																																														
かん養対策	計画	— 市町	実績	2 市町	計画	— 市町	実績	6 市町																																																																																																																																														
汚染対策	計画	— 市町	実績	1 市町	計画	— 市町	実績	2 市町																																																																																																																																														
モニタリング	計画	— 市町	実績	10 市町	計画	— 市町	実績	10 市町																																																																																																																																														
第1期(H19~23)			第2期(H24~28)																																																																																																																																																			
地下水保全対策	計画	116,500 万円	実績	50,540 万円	執行率	43.4%	計画	32,200 万円	実績	33,120 万円	執行率	102.9%																																																																																																																																										
第3期(H29、30)			合計																																																																																																																																																			
地下水保全対策	計画	39,600 万円	実績	22,400 万円	執行率	56.6%	計画	188,300 万円	実績	106,060 万円	執行率	56.3%																																																																																																																																										
区分	内容	29~30年度実績	第1期実績	第2期実績																																																																																																																																																		
地下水保全計画の策定	地下水かん養や水質保全のための計画策定	9市町	9市町	9市町																																																																																																																																																		
地下水かん養対策	休耕田を利用した地下水かん養、雨水浸透施設等	2市町	6市町	4市町																																																																																																																																																		
地下水汚染対策	地下水の浄化設備等の設置、維持管理等	1市町	2市町	2市町																																																																																																																																																		
地下水モニタリング	地下水の水位や水質のモニタリング	10市町	10市町	10市町																																																																																																																																																		

事業名	8 生活排水処理施設の整備促進																																																																													
事業のねらい・目的	富栄養化の状態にあるダム湖への生活排水（窒素・リン）の流入や相模川水系・酒匂川水系への未処理の生活排水の流入を抑制することにより、県内水源保全地域の生活排水対策を総合的に推進し、水源環境の負荷軽減を図る。	事業対象地域	相模川水系・酒匂川水系取水堰の県内集水域																																																																											
事業内容	県内ダム集水域における公共下水道及び高度処理型合併処理浄化槽の整備を併せて、相模川水系・酒匂川水系取水堰の県内集水域（ダム集水域を除く。）における合併処理浄化槽の転換促進を図る。このため、県は、これらの取組を行う市町村への支援を行う。																																																																													
	<p>【事業量】</p> <p>◆ 公共下水道の整備促進事業（第1期、第2期）</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="2">第1期(H19~23)</td> <td colspan="2">第2期(H24~28)</td> </tr> <tr> <td>下水道普及率</td> <td>計画 59.0 %</td> <td>実績 53.4 %</td> <td>進捗率 70.4 %</td> <td>計画 86.0 %</td> <td>実績 60.4 %</td> <td>進捗率 21.5 %</td> </tr> <tr> <td>整備面積</td> <td>計画 206 ha</td> <td>実績 144.8 ha</td> <td>進捗率 70.3 %</td> <td>計画 208.7 ha</td> <td>実績 113.9 ha</td> <td>進捗率 54.6 %</td> </tr> </table> <p>◆ 合併処理浄化槽の整備促進事業（第1期、第2期）</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="2">第1期(H19~23)</td> <td colspan="2">第2期(H24~28)</td> </tr> <tr> <td>整備基数</td> <td>計画 200 基</td> <td>実績 368 基</td> <td>進捗率 184.0 %</td> <td>計画 1,090 基</td> <td>実績 473 基</td> <td>進捗率 43.4 %</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計画 300 基</td> <td>実績 138 基</td> <td>進捗率 46.0 %</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※第1期は上段が市町村設置型、下段が個人設置型。</p> <p>◆ 生活排水処理施設の整備促進事業（第3期）</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="2">第3期(H29、30)</td> </tr> <tr> <td>県内水源保全地域の生活排水処理率</td> <td>計画 96.0 %</td> <td>実績 94.8 %</td> <td>進捗率 20.0 %</td> </tr> <tr> <td>(うちダム集水域)</td> <td>計画 80.8 %</td> <td>実績 70.3 %</td> <td>進捗率 28.6 %</td> </tr> </table> <p>【事業費】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="2">第1期(H19~23)</td> <td colspan="2">第2期(H24~28)</td> </tr> <tr> <td>公共下水道の整備促進事業</td> <td>計画 427,000 万円</td> <td>実績 199,830 万円</td> <td>執行率 46.8 %</td> <td>計画 137,100 万円</td> <td>実績 170,230 万円</td> <td>執行率 124.2 %</td> </tr> <tr> <td>合併処理浄化槽の整備促進事業</td> <td>計画 64,600 万円</td> <td>実績 97,160 万円</td> <td>執行率 150.4 %</td> <td>計画 207,600 万円</td> <td>実績 102,700 万円</td> <td>進捗率 49.5 %</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="2">第3期(H29、30)</td> </tr> <tr> <td>生活排水処理施設の整備促進事業</td> <td>計画 348,300 万円</td> <td>実績 125,935 万円</td> <td>執行率 36.2 %</td> </tr> </table>				第1期(H19~23)		第2期(H24~28)		下水道普及率	計画 59.0 %	実績 53.4 %	進捗率 70.4 %	計画 86.0 %	実績 60.4 %	進捗率 21.5 %	整備面積	計画 206 ha	実績 144.8 ha	進捗率 70.3 %	計画 208.7 ha	実績 113.9 ha	進捗率 54.6 %		第1期(H19~23)		第2期(H24~28)		整備基数	計画 200 基	実績 368 基	進捗率 184.0 %	計画 1,090 基	実績 473 基	進捗率 43.4 %		計画 300 基	実績 138 基	進捗率 46.0 %					第3期(H29、30)		県内水源保全地域の生活排水処理率	計画 96.0 %	実績 94.8 %	進捗率 20.0 %	(うちダム集水域)	計画 80.8 %	実績 70.3 %	進捗率 28.6 %		第1期(H19~23)		第2期(H24~28)		公共下水道の整備促進事業	計画 427,000 万円	実績 199,830 万円	執行率 46.8 %	計画 137,100 万円	実績 170,230 万円	執行率 124.2 %	合併処理浄化槽の整備促進事業	計画 64,600 万円	実績 97,160 万円	執行率 150.4 %	計画 207,600 万円	実績 102,700 万円	進捗率 49.5 %		第3期(H29、30)		生活排水処理施設の整備促進事業	計画 348,300 万円	実績 125,935 万円	執行率 36.2 %
	第1期(H19~23)		第2期(H24~28)																																																																											
下水道普及率	計画 59.0 %	実績 53.4 %	進捗率 70.4 %	計画 86.0 %	実績 60.4 %	進捗率 21.5 %																																																																								
整備面積	計画 206 ha	実績 144.8 ha	進捗率 70.3 %	計画 208.7 ha	実績 113.9 ha	進捗率 54.6 %																																																																								
	第1期(H19~23)		第2期(H24~28)																																																																											
整備基数	計画 200 基	実績 368 基	進捗率 184.0 %	計画 1,090 基	実績 473 基	進捗率 43.4 %																																																																								
	計画 300 基	実績 138 基	進捗率 46.0 %																																																																											
	第3期(H29、30)																																																																													
県内水源保全地域の生活排水処理率	計画 96.0 %	実績 94.8 %	進捗率 20.0 %																																																																											
(うちダム集水域)	計画 80.8 %	実績 70.3 %	進捗率 28.6 %																																																																											
	第1期(H19~23)		第2期(H24~28)																																																																											
公共下水道の整備促進事業	計画 427,000 万円	実績 199,830 万円	執行率 46.8 %	計画 137,100 万円	実績 170,230 万円	執行率 124.2 %																																																																								
合併処理浄化槽の整備促進事業	計画 64,600 万円	実績 97,160 万円	執行率 150.4 %	計画 207,600 万円	実績 102,700 万円	進捗率 49.5 %																																																																								
	第3期(H29、30)																																																																													
生活排水処理施設の整備促進事業	計画 348,300 万円	実績 125,935 万円	執行率 36.2 %																																																																											
	<p>【事業実施箇所図】</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>3期(29)計画の目標</th> <th>3年度実績</th> </tr> <tr> <td>県内水源保全地域の生活排水処理率</td> <td>96.0%</td> <td>94.8%</td> </tr> <tr> <td>うちダム集水域の生活排水処理率</td> <td>80.8%</td> <td>70.3%</td> </tr> </table>			区分	3期(29)計画の目標	3年度実績	県内水源保全地域の生活排水処理率	96.0%	94.8%	うちダム集水域の生活排水処理率	80.8%	70.3%																																																																		
区分	3期(29)計画の目標	3年度実績																																																																												
県内水源保全地域の生活排水処理率	96.0%	94.8%																																																																												
うちダム集水域の生活排水処理率	80.8%	70.3%																																																																												
	<p>【事業実施状況】</p> <p>下水道整備及び浄化槽設置の状況（相模原市及び山北町）【H19~26】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【整備前】</p> <p>相模原市内 埋設位置が深い場合、地表を掘削することなく地中を貫通する推進工法を採用</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【整備後】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【整備前】</p> <p>山北町内 公衆トイレの単独処理浄化槽を高度処理型合併処理浄化槽(25人槽)に転換</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【整備後】</p> </div> </div>																																																																													
	<p>《評価コメント》</p> <p>第2期計画までは、公共下水道の整備促進事業及び合併処理浄化槽の整備促進事業として、下水道の普及率及び合併処理浄化槽の整備基数を計画の目標数量として設定していました。第2期の公共下水道の整備に関しては、道路境界の未確定箇所や工事困難箇所が多数あったため、また、合併処理浄化槽の整備に関しては、浄化槽を設置する家庭の個別事情など難しい課題が多かったことから、進捗率は低調な実績に止まっています。</p> <p>第3期計画からは第2期までの2事業を統合し、生活排水処理施設の整備促進事業として、県内水源保全地域の生活排水処理率及びダム集水域の生活排水処理率を新たな目標数量に設定しています。第3期2年目までの実績としては、依然として低調な実績にとどまっているため、今後は関係市町と連携し、事業進捗の向上に努めていただく必要があります。</p> <p>平成28年度に実施した事業モニターでは、『ダム集水域における生活排水処理率の目標達成に向けて、税の効率的な活用のためには、公共下水道整備だけでなく、高度処理型合併処理浄化槽、農業集落排水処理施設、合併処理浄化槽を選択肢に含め、地区や場所によって経済的効果的な下水処理方法を選択することにより、地域全体としてベストミックスになるような柔軟な施策が望まれる。』などの意見が出ています。</p>																																																																													

アウトプット
＜量的指標
による評価＞

事業名	9 相模川水系上流域対策の推進														
事業のねらい・目的	相模川水系全体の流域環境保全に向け、山梨県との共同事業により、県外上流域における水源環境の保全・再生を図る。	事業対象地域	相模川水系県外上流域												
事業内容	<p>荒廃した森林を対象に、間伐や間伐に必要な作業道の整備等を両県が共同事業として実施する。また、生活排水対策として、山梨県にある桂川清流センター（下水処理施設）において、リン削除効果のある凝集剤による排水処理を、両県が共同事業として実施する。</p>														
アウトプット <量的指標 による評価>	【事業量】 ※第1期は現況調査等を実施														
	第1期(H19~23)		第2期(H24~28)												
	間伐	計画 ー ha 実績 ー ha 進捗率 ー	計画 1,280 ha 実績 1,077 ha 進捗率 84.2%												
	広葉樹の植栽	計画 ー ha 実績 ー ha 進捗率 ー	計画 10 ha 実績 10.61 ha 進捗率 106.1%												
	第3期(H29、30)		合計												
	間伐	計画 728 ha 実績 311 ha 進捗率 42.7%	計画 2,008 ha 実績 1,388 ha 進捗率 69.1%												
	広葉樹の植栽	計画 10 ha 実績 0.48 ha 進捗率 4.8%	計画 20 ha 実績 11.09 ha 進捗率 55.5%												
	【事業費】														
	第1期(H19~23)		第2期(H24~28)												
	森林整備/生活排水対策	計画 9,800万円 実績 7,594万円 執行率 77.5%	計画 36,500万円 実績 28,144万円 執行率 77.1%												
第3期(H29、30)		合計													
森林整備/生活排水対策	計画 19,000万円 実績 6,948万円 進捗率 36.6%	計画 65,300万円 実績 42,686万円 進捗率 65.4%													
【事業実施箇所図】															
 <table border="1" data-bbox="901 761 1252 840"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>3期から計画の目標</th> <th>19~23年度実績</th> <th>27年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>間伐</td> <td>728ha</td> <td>311.36ha</td> <td>1,077.2ha</td> </tr> <tr> <td>広葉樹の植栽</td> <td>10.0ha</td> <td>0.48ha</td> <td>10.6ha</td> </tr> </tbody> </table>				区分	3期から計画の目標	19~23年度実績	27年度実績	間伐	728ha	311.36ha	1,077.2ha	広葉樹の植栽	10.0ha	0.48ha	10.6ha
区分	3期から計画の目標	19~23年度実績	27年度実績												
間伐	728ha	311.36ha	1,077.2ha												
広葉樹の植栽	10.0ha	0.48ha	10.6ha												
【事業実施状況】															
<p>森林整備後は混み合っていた林内に光が入り、明るくなった。（山梨県大月市七保町浅川西ノ入）【H30】</p>															
【整備前】		【整備後】													
															
<p>≪評価コメント≫ 山梨県との共同事業として、第2期より開始された県外上流域における森林整備につきましては、事業量、事業費ともに概ね計画通りに進捗しています。また、桂川清流センターにおける生活排水対策につきましても、平成26年度の設備稼働以降、計画上の目標（放流水の目標全リン濃度を0.6mg/l以内）を年平均で毎年度達成していますので、本事業の所期の成果は得られているものと評価します。 平成30年度に実施した事業モニターでは、『良質な水環境を保持するために両県の共同事業として神奈川県の水源環境保全税が適切かつ効果的に使われていると判断できる。』『森林整備とシカ管理の問題は大きな課題であり、今後両県相互の情報共有が必要である。』などの意見が出ています。</p>															

事業名	10 水環境モニタリングの実施				
事業のねらい・目的	「順応的管理」の考え方にに基づき、事業実施と並行して、水環境全般にわたるモニタリング調査を実施し、事業の効果と影響を把握しながら評価と見直しを行うことで、柔軟な施策の推進を図るとともに、施策の効果を県民に分かりやすく示す。			事業対象地域	水源保全地域
事業内容	水源環境保全・再生施策の実施効果を評価するために必要な時系列データの収集等を行うため、森林のモニタリング調査（対照流域法等による森林の水源かん養機能調査、人工林の現況調査、森林生態系効果把握調査）及び河川のモニタリング調査（動植物等調査、県民参加型調査）を行う。また、酒匂川水系上流域の森林や生活排水施設の現状を把握する。				
	【事業費】				
	第1期(H19～23)			第2期(H24～28)	
モニタリング調査	計画 84,800万円	実績 87,800万円	執行率 103.7%	計画 85,700万円	実績 97,000万円 執行率 113.2%
	第3期(H29、30)			合計	
モニタリング調査	計画 104,000万円	実績 34,000万円	執行率 32.8%	計画 274,500万円	実績 218,800万円 執行率 79.7%
	【事業実施箇所図】				
					
アウトプット ＜量的指標 による評価＞	【事業実施状況】 ＜森林のモニタリング調査（対照流域法等調査、人工林の現況調査、森林生態系効果把握調査）＞				
第1期 (H19～23)	<ul style="list-style-type: none"> ●対照流域法等 平成19年度より学識者等による検討委員会を立ち上げ、モニタリングの内容等について検討を開始した。平成20年度より地形や地質の異なる水源の森林エリア内の4地域にモニタリング施設を整備し、調査を開始した。 ●人工林の現況調査（5年おきに実施） 平成21年度調査では、県内水源保全地域内の国有林を除く全ての人工林について現地調査し、整備状況、光環境、下層植生、土壌状況及び総合評価をAからDまでのランクに区分する方法で実施した。 				
第2期 (H24～28)	<ul style="list-style-type: none"> ●対照流域法等 4つの試験流域でのモニタリングを継続した。このうち3箇所では、間伐や植生保護柵の設置等を行い、その後の水流出や水質、土砂流出等の変化をモニタリングしている。 ●人工林の現況調査 5年おきの調査のため、平成26年度に調査を実施し、平成27年度に補完調査を行った。県内水源環境保全地域内の国有林を除くすべての人工林について、現地調査や既往の航空レーザ測量データ等を活用し、手入れ度をAからDまでのランクに区分した。 ●森林生態系効果把握 平成24年度に手法検討を行い、平成25年度は予備調査（小仏山地）、平成26年度は本調査（小仏山地、箱根外輪山）を実施した。平成27年度に本調査（丹沢山地）を実施し、平成28年度は、3地区の現地調査結果を踏まえた総合検討を行なった。 				
第3期 (H29～R1)	<ul style="list-style-type: none"> ●対照流域法等 4つの試験流域でのモニタリングを継続し、地域ごとの水土砂流出特性を把握するとともに、間伐や植生保護柵設置等の短期的な効果を検証した。 ●人工林の現況調査（5年おきに実施） 令和元年度及び令和2年度の2か年で調査を実施する。 ●森林生態系効果把握 第2期の初回調査の成果を踏まえて、平成29、30年度に2巡目の追跡調査を実施した。 				

<河川のモニタリング調査（動植物等調査、県民参加型調査）>

第1期 (H19～23)	<ul style="list-style-type: none"> ●動植物等調査（5年おきに実施） 平成20年度に相模川水系、平成21年度に酒匂川水系の現地調査を実施し、取水堰上流域の各40地点において、水生生物等の動植物や窒素、SSなどの水質項目について観測した。 ●県民参加型調査 平成19年度は調査計画の策定、調査マニュアル等の作成を行い、平成20年度から水生生物や水質等の調査を開始した。4年間で延べ253名が参加し、70地点で調査を行った。
第2期 (H24～28)	<ul style="list-style-type: none"> ●動植物等調査 平成25年度に相模川水系の40地点、平成26年度に酒匂川水系の40地点の現地調査を実施した。 ●県民参加型調査 毎年、水生生物や水質等の調査を実施し、5年間で延べ391名が参加し、170地点で調査を行った。
第3期 (H29～R1)	<ul style="list-style-type: none"> ●動植物等調査 平成30年度に相模川水系の39地点、令和元年に酒匂川水系の39地点の現地調査を実施した（両水系とも崩落により1地点の調査未実施）。 ●県民参加型調査 毎年、水生生物や水質等の調査を実施し、3年間で延べ275名が参加し、169地点で調査を行った。

<酒匂川水系上流域の現状把握>

第2期 第3期	静岡県から酒匂川上流の森林施業に係るデータの提供を受け、現状把握に努めた。
------------	---------------------------------------

<現地写真>

県内4箇所の試験流域において、森林からの水や土砂の流出実態と短期的な整備効果を把握した



小仏山地・丹沢山地・箱根外輪山の各整備地において間伐による生物多様性への影響を把握した



人工林の現況調査及び河川のモニタリング調査の様子








<<評価コメント>>

順応的管理の考え方にに基づきモニタリング調査を実施し、その結果が施策の評価に活用されることで、より柔軟な施策の運営につながっているものと評価します。

なお、森林の特別対策事業の多くは全国的にも先進的な取り組みであることから、本モニタリング調査の結果が、現場レベルでの対策技術開発に加え、前例のない事業の効果を県民に説明する役割を担っているとも言えます。こうしたモニタリング調査で得られた情報につきましては、広く県民に公表されることが、参加型税制で施策を進める上でも重要であると考えます。

アウトプット
<量的指標
による評価>

事業名	11 県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み		
事業のねらい・目的	水源環境保全・再生施策について、計画、実施、評価、見直しの各段階に県民意見を反映させ、県民が主体的に事業に参加し、県民の意志を基盤とした施策の展開を図る。	事業対象地域	県全域
事業内容	水源環境保全・再生施策に県民意見を反映させるため「水源環境保全・再生かながわ県民会議」の運営等を行う。また、市民団体やNPO等が実施する水源環境保全・再生活動に対し、財政的支援を行う。		
アウトプット ＜量的指標 による評価＞	【事業費】		
		第1期(H19~23)	第2期(H24~28)
	県民会議の運営等	計画 19,200万円 実績 10,770万円 執行率 56.1%	計画 23,000万円 実績 20,687万円 執行率 89.9%
		第3期(H29、30)	合計
	県民会議の運営等	計画 23,000万円 実績 6,039万円 進捗率 26.3%	計画 65,200万円 実績 37,496万円 進捗率 57.5%
	【事業実施状況】		
	会議名等	開催実績等	
	県民会議	44回開催（第1期：19回、第2期：19回、第3期：6回）	
	施策調査専門委員会	46回開催（第1期：19回、第2期：20回、第3期：7回）	
	市民事業専門委員会	71回開催（第1期：32回、第2期：29回、第3期：10回）	
	県民フォーラム	開催回数： 42回（第1期： 14回、第2期： 20回、第3期： 8回） 参加者数：12,433名（第1期：2,324名、第2期：6,365名、第3期：3,744名） 意見数：2,136件（第1期：727件、第2期：896件、第3期：513件）	
	事業モニター	46回開催（第1期：24回、第2期：16回、第3期：6回）	
	ニュースレター	25回発行（第1期のみ）	
	広報資料	リーフレットの発行・配布 「森は水のふるさと」の配布 207,160部（第2期：33,619部、第3期：173,541部） 「支えよう！かながわの森と水」の配布 193,046部（第2期：19,676部、第3期：173,370部） 絵本・紙芝居「かながわ しずくちゃんと森のなかまたち」の作成・配布	
	市民事業支援補助金	238団体376事業 93,182,000円 （第1期：84団体140事業 31,006,000円 第2期：121団体188事業 49,333,000円 第3期：33団体48事業 12,843,000円）	
			
		<p>「森は水のふるさと」</p>  <p>「支えよう！かながわの森と水」</p> 	
<p>《評価コメント》</p> <p>本事業では、平成19年度に「水源環境保全・再生かながわ県民会議」を設置し、県民参加のもと施策の評価や県民への情報提供、市民事業への支援等を行ってきました。</p> <p>施策の評価では、各事業の進捗状況やモニタリング調査結果、県民視点での事業モニター結果や県民フォーラム意見等による多面的な評価を行い、施策への県民意見の反映に努めてきました。また、県民への情報提供では、平成30年度までに計42回にわたる県民フォーラムを県内各地で開催するとともに、分かりやすい広報媒体としてリーフレットや絵本・紙芝居の作成に取り組むなど、効果的な情報発信にも努めているといえます。</p> <p>加えて、市民事業への支援では、水源環境の保全・再生の活動等を行う団体（延べ238団体376事業）に対し、財政的な支援等を行っています。こうした取組を進めたことで、市民活動が一層推進され、水源環境の保全・再生のすそ野の広がりに寄与しているものと評価します。</p>			